

平成29年度行政評価シート【個表】

平成 29 年 6 月 22 日

評価対象事業		評価者	観光商工課担当課長	廣川 正
市民-12	実施事業	観光案内所運営事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課 観光商工課
	まち・ひと・しごと		<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課
総合計画上の位置付け	分野	観光	施策の方針	安全で快適な観光空間の整備

1 事業の目的

対象	観光客等
意図	観光案内業務を通じて観光客の利便性を高めるため。
効果	観光客にとっては、観光目的を達することによる満足感が得られ、市にとっては、産業振興、雇用確保などの経済的波及効果や地域の活性化につながる。

2 平成28年度に実施した事業の概要

JR鎌倉駅構内東口の観光案内所の運営を委託し、観光客に対し適切な情報提供を行った。 観光案内所を駅舎正面付近に移設し、機能を向上させるとともに観光客の利便性を高めた。
--

3 事業費等基礎データ

データ区分	27年度決算		28年度決算		データ区分	29年度当初予算		備 考
	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数		人 口	世 帯 数	
人口等のデータ	177,243人	80,676世帯	176,869人	80,928世帯	176,466人	81,150世帯		・各年3月31日 (住民基本台帳)
事業の対象者数								
運営資源状況	決算値(千円)	7,678	14,818	当初予算(千円)	22,627			
	国県支出金		82	国県支出金				
	地方債			地方債				
	その他		733	その他	972			
	一般財源	7,678	14,003	一般財源	21,655			
	人員配置数	0.2	0.2	人員配置数	0.2			
事業運営	人件費(千円)	1,616	1,649	人件費(千円)	1,748			
	総事業費(千円)	9,294	16,467	総事業費(千円)	24,375			
	市民1人当りの経費(円)	52	93	市民1人当りの経費(円)	138			
	対象者1人当りの経費(円)			対象者1人当りの経費(円)				

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	3. 廃止・休止による影響は大きくある
	今後も市が実施すべき事業か	5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有 効 性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	△.負担未導入 △-2. 受益者はいるが、今後も公費により全額市が負担すべきものである
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	△.協働未実施 協働実施済の場合のパートナー

事業内容の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す → <input type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする <input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する <input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する →	見直しの種類	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他	見直しの内容	開設時間を延長し、複数言語対応可能な案内業務の充実に努める。  事業へ統合
	<input checked="" type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する <input type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする <input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	移転した観光案内所の賃料や案内サービスの質を高めたことにより、経費の拡充が必要のため。		

総評(評価に対する考え方、根拠等)	2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催を見据え、さらなる増加が見込まれる外国人観光客の受け入れ体制の強化が求められる。その一環として、常時英語を含む3以上の言語による対応が可能で、かつ全国レベルの観光情報、地図等を旅行者に提供できる機能を有する日本政府観光局(JNTO)認定観光案内所カテゴリ-Ⅲの認定を目指す。
-------------------	---

平成28年度事業実施にあたっての課題(前年度未解決の事項を含む)	平成28年度中に案内所の移設を行い、移設に伴う案内業務の拡充を図る必要がある。	
課題解決のために行った平成28年度の取組	平成28年度10月1日に移転・再開し、案内機能の充実を図った。	<input checked="" type="checkbox"/> 解決 <input type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	案内所の担い手を検討する。年始の開設など利用者の実情やニーズを把握し最適な運営を目指す。	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	入込観光客数等(平成27年度)									
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	逗子市	三浦市	横浜市	
他市実績	22,926	18,335	3,024	6,922	4,538	8,723	889	5,918	48,592	
比較事項										
団体名										
他市実績										
比較事項										
団体名										
他市実績										
当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	県内全市町村対象に行う入込観光客数調査において、鎌倉市は横浜市に次ぐ延観光客が訪れており、観光案内所利用者も相対的に他市町に比べ多いことが伺える。									

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	鎌倉に来る前の期待に対する満足度(来訪者アンケート+WEBアンケート)						単位	%	指標の傾向	⇒	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
当該事業の実施により、観光客の満足度を向上させるため。	目標値	85.0%	85.0%	85.0%	85.0%	85.0%	85.0%				
	実績値	79.2%	79.5%	76.6%							
	達成率	93.2%	93.5%	90.1%							
指標の内容							単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
	目標値										
	実績値										
	達成率										
指標の内容							単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
	目標値										
	実績値										
	達成率										
当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	目標とした数値に近い結果となっていることから、引き続き維持または向上させるよう努めたい。										